主要相場

日経商品指数17種 （1970年平均＝100）　19日 140.333　前日比 ＋0.838

デイリー

石油

▽原油（東京、現物、FOB、[illegible]、1月渡し）
ドバイ　[illegible]
▽製品（同、現物、業者間取引、ガソリンとローリー物は油槽所渡し、他はバージ物京浜油槽所渡し、軽油は軽油引取税含む、1㌔㍑、円）
ガソリン（バージ物）　107,500—108,000
同（ローリー物）　■107,800—108,300
灯油　■55,500—56,000
軽油　■56,000—56,500
A重油（硫黄分1%）　■52,000—52,500
高硫黄C重油（硫黄分2.5%）　45,500—46,000
低硫黄C重油（同0.3%）　46,500—47,000
ナフサ（東京湾オープンスペック、[illegible]、1㌧、ドル）　0785—792

貴金属地金

（東京、大口需要家渡し、持ち込み、現金、円、午後4時現在）
金（99.99%以上、1㌘）　03,662—3,672
プラチナ（99.9%以上、1㌘）　04,555—4,565
パラジウム（99.9%以上、1㌘）　01,930—1,945
銀（99.95%以上、1㌔）　075,300—75,900
▽ココ東京金（小売で、税抜、1㌘、円）　03,655
▽小売価格（地金商社、消費税込み、円）買取　小売
金　3,793　3,865
プラチナ　4,620　4,809
▽山元建値（円）
金（1㌘）　03,676
銀（1㌔）　074,550

非鉄地金

（東京、商社仕切値、需要家渡し、現物、1㌧、税抜、千円）
銅　0757—759
亜鉛　197—199
鉛　220—222
すず（90日手形）　02,289—2,299
ニッケル（電解、1[illegible]）　■1,960—1,970
アルミニウム（99.7%、輸入スポット物、120日手形）　0282—284

半導体スポット

（東京、メモリー、小口渡し、現金、1個、ドル）
▽DRAM
512メガ（DDR2型、×16）　■1.02—1.24
1ギガ（同×16）　■1.44—1.59
1ギガ（DDR3型、×16）　1.3—1.47

鋼材

（問屋仲間、置き場積み込み、異形棒鋼はスポット物を除き大口需要家渡し、1㌧、30～120日手形、千円）
▽条鋼　東京　大阪
異形棒鋼10㍉（SD295A）　59—60　59—60
異形棒鋼19㍉（SD295A）　56—57　55—56
平鋼6×50㍉　94—95　85
山形鋼6×50㍉　74—75　74
みぞ形鋼5×50×100㍉　76—77　77
H形鋼5.5×8×200×100㍉　71—72　70
▽棒鋼スポット物（異形棒鋼19㍉、問屋置場渡し）　61—62　60—61
▽鋼板
冷延1.6㍉（914×1,829㍉）　86—88　89—91
熱延1.6㍉（1,219×2,438㍉）　68—70　76—77
熱延3.2㍉（1,219×2,438㍉）　64—66　72—73
熱延12㍉（1,524×3,048㍉）　68—70　75—76
▽電気亜鉛めっき鋼板
冷延1.0㍉（914×1,829㍉）　103—105　105—106
熱延1.6㍉（914×1,829㍉）　93—95　97—98

天然ゴム

（大口需要家向け、営業倉庫渡し、1㌔、翌日手形、円）
東京　大阪
RSS1号　—　—
RSS3号　0386　—
TSR20号　0379　1379

繊維

▽綿糸（大阪仲間、上級品、木管糸、倉庫渡し、45日手形、1コリ、千円）
現物　12～1月　月
20単　80—82　—　—
30単　90—92　—　—
40単　91—95　—　—
▽スフ糸（大阪仲間、当月物、倉庫渡し、1㌔、45日手形、円）
ブライト　ダル
30単　261　266
▽毛糸（名古屋仲間、その他、1㌔、60日手形、日歩付き、円）
48双　1,260
60双　1,400

砂糖

（元卸、市中標準品、置き場渡し、1㌔、現金、円）
東京　大阪
上白　182—183　183
白ざら　205—207　206—207
中ざら　205—206　206
グラニュー（袋）　185—186　186
グラニュー（本グラ）　187—188　188
ビートグラ　182—183　186
◇名古屋
上白　186
白ざら　210—211
太グラニュー　191
ビートグラ　154
◇関門
上白　186

小豆・大豆

（問屋仲間、大豆は輸入品置き場渡し、北海道産2等、倉庫渡し、輸入物は輸入業者渡し、千円）
◇東京
小豆（中国産、30㌔）　15
中国産小豆（天津、大粒、60㌔）　11
米国産大豆（インディアナ・オハイオ・ミシガン、選別、置場渡し、1㌧）　79
米国産大豆（同、同、不分別品、1㌧）　49
◇大阪
小豆（中国産、30㌔）　13
中国産小豆（天津、大粒、60㌔）　11
◇横浜（新物、倉庫渡し、30㌔）
小豆（みがき）　12.75
大正[illegible]　10.8
大正金時　12.2

ウイークリー

（5週1回土曜に掲載）

黒糖・砂糖小袋

（元卸、市中標準品、黒糖は沖縄産1等、置き場渡し、1㌔、現金、円、左側東京、右側大阪）
黒糖（30㌔）　8,910—9,050　9,060—9,210
上白小袋（一流ブランド品、トラック単位取引）　194—197　197

石油製品

（大手メーカー物、大手特約店卸、[illegible]）
ガソリン（一般標準品）　115—115　115—115
47—53
バンカーオイル（外航船向けスポット、180CST、現金、1㌧、ドル）　■525—530

糖化製品

（一次店卸、60日手形、持ち込み、1㌔、左側東京、右側大阪）
▽水あめ（缶物は小口需要家向け、タンクローリー物は大口需要家向け）
酵素糖化（1缶）　3,750—3,800　3,700—3,800
同（タンクローリー物、1㌔）　105—110　105—110
酸糖化（1缶）　3,700—3,750　3,650—3,750
同（タンクローリー物、1㌔）　105—110　105—110
▽ぶどう糖（大口需要家向け、1㌔）
精製　152—154　152—154

産業素材 空洞化の衝撃

第1部 揺れる国内市場 ㊦

リサイクルも海外依存

アジアで原料を調達

「日本の自動車メーカーの海外生産は今後、加速度的に進む。国内のアルミスクラップ市場は大幅に縮小するだろう」。こう予測する大阪市の非鉄スクラップ問屋、橋本アルミの橋本健一郎専務だが、なぜか深刻な様子はない。

実は、同社は商社などと共同で発生量の多いメキシコなどで非鉄スクラップを調達。自動車生産が急拡大し、スクラップ需要が増えるタイに持ち込んで販売する「三国間貿易」を来年から始める計画を練っている。

アルミスクラップを再生した二次合金の国内生産量は2009年度に1982年度以来の70万㌧台に落ち込んだ。国内市場の縮小を見込んで、従来は内需の依存度が高かったスクラップ業者も海外市場に目を向け始めた。

だが、内需依存の脱却が容易ではない業界も少なくない。

「パナソニック系列の携帯電話向け部品メーカーからの注文が8月以降半減した」。電子部品用伸銅品の「洋白」を扱う石塚商店（東京・江戸川）の石塚佳一社長は困惑する。販売先の部品メーカーが製造拠点をマレーシアへ移したためだ。電子部品材料の分野は販売先ごとに規格が異なる場合が多く、販売ルートの切り替えは単純には進まない。販売先の海外移転により、伸銅品問屋は常時、在庫を余分に用意しておく経営体力がなくなってきた。

在庫負担を軽減しようと、同業者間で商品を融通し合って在庫を圧縮する取り組みが広がっている。今では「同業者間取引が6割以上に達した」（石塚社長）という。

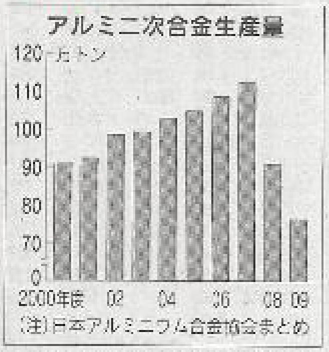
非鉄大手のJX日鉱日石金属は5月から台湾で不良品など廃棄される電子部品を回収する事業を始めた。12年には月間1500㌧に集荷量を高める。国内の空洞化に備え、非鉄製錬の原料となるスクラップを国内と並行してアジアで調達・再利用するシステムの構築を急ぐ。

回収した電子基板などはいったん日本に持ち込み、含有金属を回収。再び電子部品用の金属材料に再生する。同社はすでに台湾に電子材料の生産・販売拠点を持っており、大井滋・執行役員環境リサイクル事業本部長は「現地で発生したスクラップ原料を、再び台湾の電子部品メーカー向けの金属材料に循環させるシステムを整備する」と説明する。

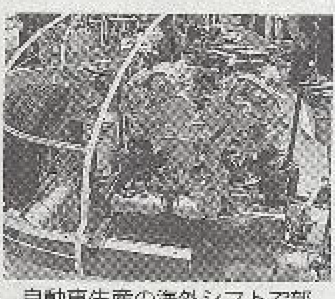
産業の空洞化は、国内の素材調達に変化をもたらし、従来の取引慣行に沿った国内価格の形成を揺さぶる。そして産業素材のリサイクル分野までも海外市場への依存が加速し始めた。

日本総合研究所の山田久ビジネス戦略研究センター所長は空洞化への対応について「分散する生産・調達拠点を統合管理し、融合する世界市場に立ち向かう力が求められる」と指摘する。

佐藤敦、毛塚正夫、三輪恭久が担当しました。



（注）日本アルミニウム合金協会まとめ



自動車生産の海外シフトで部品用素材の原料となるアルミスクラップの市場も縮小

単価が上昇に転じた。家電や工作機械の工場の人材を募集する動きが広が り、今夏に比べ1割程度

段と増したことを示している。雇用情勢はいぜん厳しいものの、年内は改善傾向が続くとの見方が

価は1カ月当たり約10万円と、8月比1万円強高い。製造業務の請負会社が見開き広告（首都圏版

で1週間160万円）を紙媒体に出すなど、単価

月に比べ1割程度高い。薄型テレビの受注を抱える家電や新興国輸出が堅調な機械の工場向け

鉄鉱石 半年ぶり高値

鉄鉱石のスポット価格が高止まりしている。インド産の中国向け価格（鉄分62%、粉鉱）は現在、1㌧160㌦前後（運賃込み）と6カ月ぶりの高値圏にある。10月半ばに150㌦台に乗せた後に小幅に下落したが、11